

～18年前の雑文～

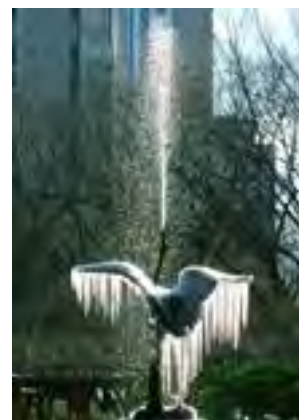
## 服装に男も感心を！

岡本詔一郎

今日、日比谷公園「緑のセンター」のギャラリーで絵画を見ての帰り、毛を刈り込んだ可愛い小犬を連れた婦人を見かけた、小犬とそっくりなのに吃驚。先日も、小さなブルドッグに似た犬を連れた婦人を！余りにもその犬にそっくりなので、思わず笑ってしまった。

どうしてそうなるのだろうか、自分の顔を何時も見ているので、自然と見慣れたものが好きに！普通の人にはどう見ても良くは見えない犬でも、その人には・・・?? ちょっと穿った見方をすると、自分の嫌な点のカバーやカモフラージュのために、犬を連れて歩くのかも！

夫婦でも、似たもの夫婦が多い。しかし、全く違う面を持っている夫婦も、お互いに刺激しあったり、感化しあったりして楽しく過ごせると思うがどうだろうか。



日比谷公園 噴水池 氷の衣装 ～綺麗だった～

私は、陶芸が趣味のため色に感心が強く、つい女性の服装に目が行く。感心するぐらい体や顔に合った服装をしている。たまに、電車で女性が数人前の席に並ぶことがあるが、空想の世界で着せ替えて見ると殆ど似合わない。それは当然で、自分に合った服装をする習慣がついているので、隣の人を着ても似合う筈が無い。しかし、良い服は、本来誰が着ても素晴らしい筈だが！着る人によって良くも悪くも、不思議なものだ。



焼津古式窯（穴窯） 25年前焼成

私は以前静岡に勤務していた時、公民館の「おしどり講座」で、カラーコーディネーターの教育を受けた際、「女性は口紅、男性はネクタイがポイント」と教わった。その人に合った色を探すのに、その講師は一人二万円貰っているとのことだった。その時、色には同じ赤でも8種類の赤が有ることも知った、誰もそんなこと気にせず生活している訳である。しかし、そのことを知って、色を見ると見ないのとでは、大きな違いになって頭れると思うので要注意。

最近、「岡本さん若いですね」とパーティーなどで。今まで、そんなこと言われたことが無いので喜んでいる。「ワイシャツは綿の濃い青、ネクタイはワイシャツに合った赤黒っぽい」ものをしている為かも！

これからは男の皆さんも、ちょっと服装に感心を持たれて、おしゃれをしては如何ですか。その際のコツは、若い者の服を真似ること。ワイシャツは色もの、ネクタイは数ある中から選び出し、自分に合ったものを付ける。褒められたら、それからは、背広、ワイシャツ及びネクタイは同じものを着て宴会等に行く。更に進んで、服などを選ぶ時は、奥さんに任せるので無く、自分でシステムの的に上から下まで合せて買う。楽しみが増えますよ！



ふれあいの里センター 炭焼き窯クラブで撮影

荒畑富士の付近

明日から早速実践しては、如何ですか！きっと何か、心がウキウキし、**気持ち  
が若返る**こと請け合いです。

2000,11,13